

編集 後記

我が国における衛生制度の創設期に活躍した長与専斎先生が、荘子の庚桑楚篇より引用した「衛生」という言葉を健康保護の事務に適用することを思いついた。本来の意味とは異なるが、字面が「高雅」であったこと等から転用されたということが、遺著の「松香私志」に記されている。先生は岩倉具視卿を特命全權大使とした欧米派遣団の一員として、医事制度の視察を行い、我が国における総合的衛生制度として医制の発布に関与したが、その直後の頃の話であり、心意気が伝わってくるような命名である。当時は衛生観念も十分に行き渡っておらず、「生命を衛（まも）る」ということが公衆衛生を表す思想としての的確である。

一方、近年は健康問題に関する分野を語る際に「衛生」ではなく、「保健」が一般的になっている。「保健」という言葉は、「衛生」と比較して、自ら健康管理を適切に行い、健康を保持する意味も含み、さらに「健康増進」が提唱されるに至っては、より積極的な健康づくりや体位の向上を目指すことを表してきたのではないだろうか。

未来の公衆衛生は一体どこへ向かおうとしているのだろうか。世界保健機関においては、「spiritual」な部分まで視野に入れ、健康の概念が議論されている。また、近年の科学の進歩は著しく、ヒトの遺伝子の配列が解明され、遺伝子レベルにおける操作も行われており、未来は「創健（健康を創造する）」も夢物語ではないかもしれない。世界最高の健康水準に到達した我が国から今後の公衆衛生の未来を先導する思想が発信されることを期待せずにはおれない。

(平子 哲夫)

次号予告（第52巻：第2号）

総説

循環器疾患予防におけるPWVの有用性—内外における文献考察—……………宇津木恵，他

原著

地域がん登録を用いた視触診による乳がん検診の評価……………柴田亜希子，他

The Epworth Sleepiness Scaleの性・年齢階級別得点分布と日中の過度の眠気の有症割合の推定—地域住民を対象とした調査—……………竹上未紗，他
ハンセン病回復者の社会復帰時の生活に関する研究—再入所者への面接調査から—……………指田百恵，他

資料

保健所による立入検査を医療機関はどう受け止めているか……………佐藤牧人，他

診療報酬上の精神科包括病棟の取得動向に関する全国調査……………濱野 強，他

地域在宅高齢者における記憶愁訴の実態把握—要介護予防のための包括的健診（「お達者健診」）

についての研究③—……………岩佐 一，他

訪問看護師によるリハビリテーション利用者と理学療法士による利用者との身体的状態の比較……………松田明子，他